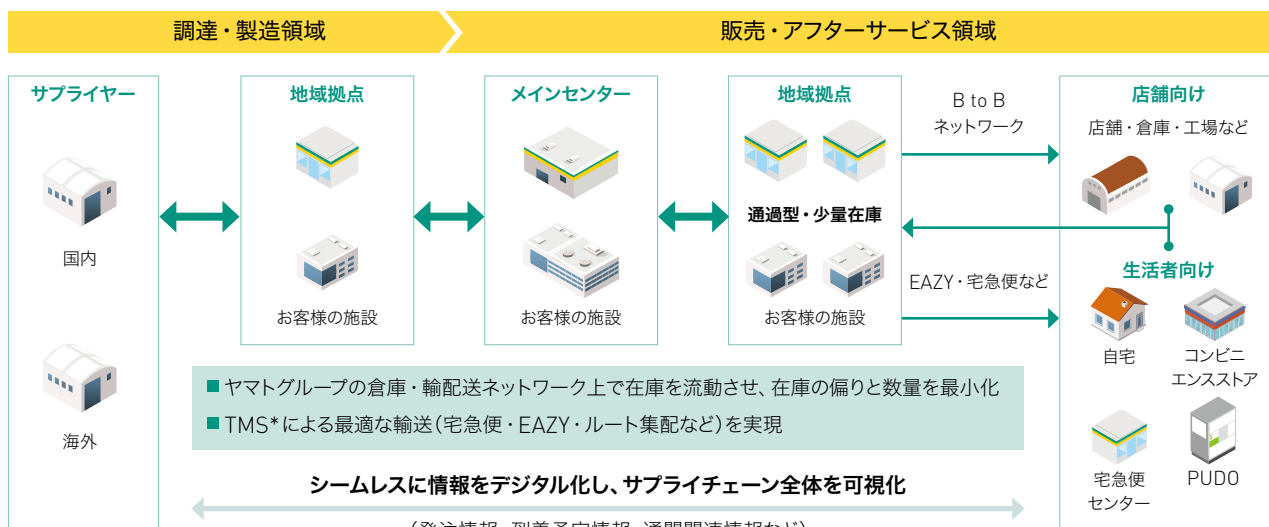


# 法人事業の強化

全国の営業倉庫・拠点・幹線・ミドルマイル・ラストマイル、および新たな域内輸送機能のシームレスな結合と、デジタル情報による可視化を通じた高度なソリューション提供により、法人のお客様の売上の最大化と、サプライチェーンのスリム化、キャッシュフローの改善に貢献することで、サプライヤー・メーカーから店舗・生活者に至るサプライチェーンをトータルに支援するビジネスパートナーを目指します。

## サプライチェーン全体の変革を支援するパートナーへ

Oneヤマトで経営資源を活用し、最適なソリューションを提供



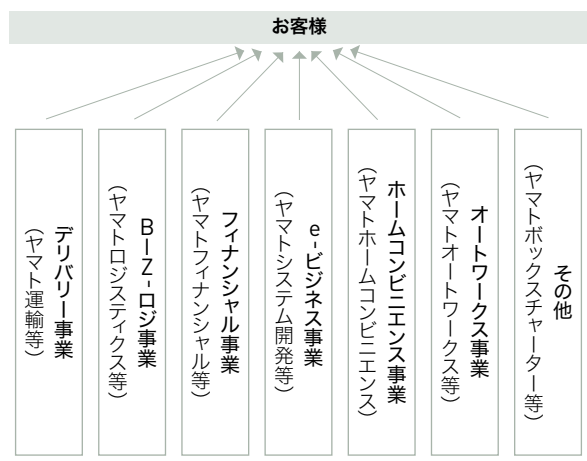
サプライヤー・ベンダー	販売者	店舗・生活者
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出荷作業の平準化、簡素化</li> <li>■ 在庫最適化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 流通コストの最小化</li> <li>■ 多様かつ変化が激しい需要に対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 販売スペースを最大化できる(ショールーム化)</li> <li>■ 多様な買い方が可能になる</li> </ul>

\* TMS : Transport Management System

### 法人営業の推進体制を刷新

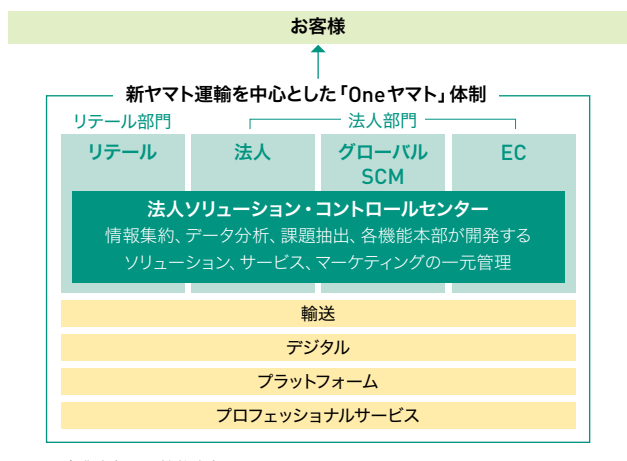
Before

■ 事業会社ごとに法人営業を推進  
 ※ 2019年10月以降は、グループの法人営業機能をバーチャルで統合



After (2021年4月~)

■ 名実ともに「Oneヤマト」体制のもと、法人部門は、顧客セグメント単位の3事業本部で営業推進



## 医療分野向けソリューション

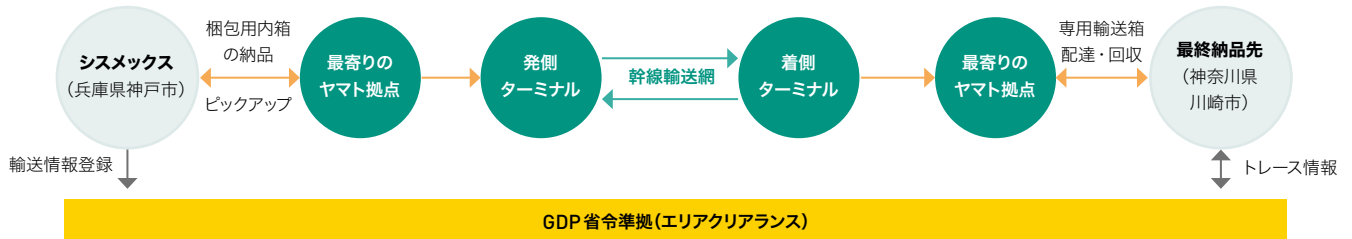
## 取組み

マイナス70度以下、かつGDPに準拠した  
「遺伝子検査用試薬」の超低温帯輸送を開始  
～さらに、ドライアイスを使用しない超低温輸送の  
実現に向けた実験をスタート～

2021年2月、ヤマトロジスティクスとシスメックス株式会社は、個別化医療\*1のさらなる進展を視野に、遺伝子検査用試薬\*2の最適な輸送に向けてロジスティクスを構築し、運用を開始しました。混載輸送にてマイナス70度以下での超低温帯における遺伝子検査用試薬の輸送は、国内で初の取組みとなります。

臨床検査機器・試薬メーカーであるシスメックスは、高度な品質管理を担保するために、遺伝子検査用試薬については物量を問わず専用便で輸送しており、高額な輸送コスト負担が課題になっていました。また輸送の際、保冷のためにドライアイスを使用しており、CO<sub>2</sub>排出による環境負荷や夏場の需要逼迫リスクの観点から、改善に向けた施策を模索していました。

## ▶ 輸送フロー概要図



そこで、ヤマトロジスティクスとシスメックスは、専用輸送箱を活用した混載輸送を前提に、低温～超低温帯での管理が求められる遺伝子検査用試薬のGDP\*3に準拠した輸送の実現に向けロジスティクスの品質管理およびコストに関する実証実験を行いました。その結果、冷凍ではドライアイスレス、超低温ではドライアイス使用量を半分程度削減することに成功し、複数の温度帯において、高品質・低コストなロジスティクスを実証できたため、本格運用を開始したものです。

今後は、マイナス120度の超低温氷\*4を活用し、超低温帯においてドライアイスを使用しない長時間輸送に向けた実証実験を共同で行うなど、社会的ニーズに応じたコールドチェーンの進化に取り組んでいきます。

\*1 患者一人ひとりの体質や病態に合った有効かつ副作用の少ない治療法や予防

\*2 遺伝子検査に用いる体外診断用医薬品を示します

\*3 医薬品が製造工場を出荷した後、医療機関に届くまでの流通過程における品質保証を目的にした基本的な指針

\*4 株式会社エイティーター(静岡県沼津市)が開発したウルトラアイスフリーザーで真水をマイナス120度に短時間で凍らせたもの。環境にやさしくドライアイス代用品として使用

## 農産品物流分野向けソリューション

## 取組み

農産品物流の課題解決に向けた  
「ベジネコ®」プロジェクト

日本の農産品物流は、電話やFAXで受発注の情報をまとめ、手作業でデータを打ち込み、再び電話やFAXでやりとりを行うといった煩雑な受発注業務が現在も主流となっており、生産者や出荷団体の大きな業務負担となっています。また、物流事業者とのスムーズな情報連携の仕組みがないため、希望するタイミングやサービスレベルでの輸送が難しく、物流事業者にとっても「積載効率が悪い」「帰り荷がない」「長距離運行」など、働き方や収益性の面で課題があります。

ヤマト運輸は、有機・特別栽培の農産物やミールキットなどの食品宅配を展開するオイシックス・ラ・大地株式会社と連携し、輸送ネットワークをはじめとする両社のリソースを活用し、農産品物流の課題解決を目指す「ベジネコ®」プロジェクトを立ち上げました。「ベジネコ®」プロジェクトでは受発注からお届けまでをワンストップで効

率化するオープンプラットフォームの構築に取り組んでおり、その一環として、農産品物流特有の煩雑な受注業務や帳票作成を効率化するシステムを提供しています。

今後は、小売店との出荷調整の効率化などにも対応できるシステムや、物流事業者とのデジタルデータ連携による輸送の効率化、販路拡大にも貢献できるプラットフォームを提供していく予定です。

